

(別紙4)

## 2. 目標達成計画

事業所名 医療法人 仁風会 雲陽の里

作成日: 平成22年4月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2、49	ホーム周辺は散歩、買い物など気分転換に繋がる環境であるため、生活をホーム内だけで終わらせるのではなく、積極的に外部との交流を持ち、日常的な外出支援を行うことが不十分である。	#1散歩、買い物等本人の希望も確認しながら外出できる機会を持つようにする。	#1日頃の生活の中で本人の希望が表出できるような関わりを持つようにする	半年
				#1-2状況をみながら可能なときに外出ができるように計画が立てられるようにする。	半年
			#2近隣住民などとの交流機会を持てるようにする。	#2-1行事のボランティアや学校の体験学習など継続して行う	1ヶ月
				#2-2推進会議などで出していたなごやか会や茶話会などが出来るような体制作りをしていく	半年
2	20	生活の継続性という視点から利用者本人が以前の地域との関係が途切れないような支援体制が十分にできていない。	普段なかなか行けない場所への外出や付き合いのあった方との交流など、本人の希望の把握をする	#1日頃の生活の中で本人の希望が表出できるような関わりを持つようにする	半年
				#2希望に関して家族に伝え調整をしたり、計画を立てるようにする。	半年
3	40	食事の準備や調理など職員が全て行っており、また食事中も会話が少ない等役割も含めて食事を楽しむ為のケア提供が十分に出来ていない。	出来ることの役割も含めて職員と一緒に行う機会を持つようにし、利用者が食事を楽しみにできるようにする	食事・お茶などの準備などして頂ける事を考えながら一緒にする機会を増やしていくようにする	半年
4	6	ホーム内の意見箱設置や第三者委員を委嘱し苦情解決委員会を行っているが、ホームの利用者・家族の意見はほとんど取り上げられていない。	#1家族からの意見・要望を聞く機会を増やすようにする。 #2出された意見・要望がホームの運営や個別のケアに反映していくようにする	#1面会時や電話での状況報告などの時に家族の意向などを確認し、記録に残す。	3ヶ月
				#2出された意見・要望についてスタッフで協議したり第三者委員の意見を聞き取り入れていく	3ヶ月
5	4	運営推進会議でホームの現状の報告や情報交換は行っているが、会議メンバーと協同し地域の福祉ネットワークの構築等積極的な取り組みが必要。	#1運営推進会議での意見を反映させるようにする #2地域でのネットワーク作りを行う	#1運営推進会議で現状の報告を継続し、地域との関わりについて情報交換や検討を行う	半年
				#2現在行っている認知症ケア勉強会の継続等から地域との支援体制作りを行う。	半年

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。